

Sun Java™ Composite Application Platform Suite (Sun Java CAPS)

包括的、セキュア、そしてスケーラブルな
SOA ベースの統合製品



ビジネスの条件や目的が急激に変化するなかで、ビジネスはその変化に迅速に対応できなければなりません。新しいビジネス要件が発生したら、IT は、既存のアプリケーションを拡張し、特別なアプリケーションを新たに作成し、あるいは、新しいパッケージ・アプリケーションのライセンス取得と導入を行なってこの要件に対処する必要があります。残念なことに、IT 部門のリソースは、その多くの部分が、増加する一方の既存アプリケーションの保守に費やされています。そのため、新しいビジネス要件に直ちに振り向けることのできるリソースはほんのわずかです。IT と新しいビジネス要件のこのような不均衡は、新しいソリューションの導入によって既存インフラの総所有コスト (TCO) が削減されるまで続くことが予測されます。

TCO の削減を目的とするこの Sun Java Composite Application Platform Suite (Sun Java CAPS) は、現在の市場で最も包括かつ生産的なコンポジット・アプリケーション統合プラットフォームの 1 つです。この Suite 製品のユーザは、新たに作成した機能と既存の IT アプリケーション資産を組み合わせることでコンポジット・アプリケーションを構築することによって、新たなビジネス価値を生み出すことができます。Sun Java CAPS の重要な利点の 1 つは、この Suite 製品に属するすべての統合コンポーネントに対して同じ開発 / 配備 / 管理 / 監視環境を使用できる点です。この価値は、統合コンポーネントごとに別々のポイント・ソリューションを必要とする場合と比べてみれば直ちにわかります。Butler Group は、顧客調査の結果、Sun Java CAPS を使用すると、従来の手法でビジネス・プロセスの統合やアプリケーションの開発を行なうのに比べ、TCO を最大 58 %削減できると予測しています。(Based on customer research, the Butler Group estimates up to 58 percent TCO savings by using the Java CAPS, versus traditional methods of business process integration and application development.) —“Developing Composite Applications, Comparing the Total Cost of Ownership,” Butler Group, November 2005

Sun Java CAPS

Sun Java CAPS には、SOA プラットフォームの開発 / 配備 / 管理 / 監視に必要なすべての要素が含まれています。Sun Java CAPS では、新たに開発した再利用可能なサービスだけでなく、すでにあるレガシー・アプリケーションやパッケージ・アプリケーションの機能を、わかりやすいコンポジット・アプリケーション統合インフラとして結合することができます。このようなインフラでは、ビジネス・ロジックを柔軟性に欠ける

ことのないアプリケーションから抽出し、それぞれのビジネス・オーナーによって安全にアクセスし、修正することが可能になります。

この Suite 製品は、インフラ製品の上に位置するコンポジット・アプリケーション統合製品を組み合わせたものです。これらの統合製品は、実績のある包括的なグラフィカル・ツール群によってサポートされていますが、このグラフィカル・ツール群は、コラボレーションやビジネス・プロセスを標準に準拠して実行するのに適したソース・コードを生成します。開発者は、グラフィカル・モデルを使用することも、グラフィカル・モデルと連動したソース・コードを直接使用することもできます。さらに、開発者は、外部のさまざまな統合開発環境 (IDE) と組み合わせて作業することができます。

Sun Java CAPS による統合 / インフラ機能のサブセットを必要とする場合には、次の 4 つの Suite 製品から任意のものを購入できます。

• Sun Java B2B Suite (Business-to-Business)

Sun Java CAPS のサブセットで、対象は、サプライ・チェーンや流通ネットワーク、情報センターといった多様なビジネス対ビジネス要件を効率的に管理する必要がありますお客様です。

• Sun Java ESB Suite (Enterprise Service Bus)

Sun Java CAPS のサブセットで、対象は、複雑で費用のかかるメッセージング・インフラを簡素化する必要があるお客様です。Sun Java ESB Suite は、Web サービスや、XML、変換、インテリジェント・ルーティングをオープン・スタンダードでサポートすることで、高度な分散エンタープライズ・サービス・バスを提供します。

Highlights

• 統合性

この Suite 製品のすべての統合コンポーネントに対して同じ設計 / 管理 / 監視環境を使用できます。

• 包括的

SOA (サービス指向アーキテクチャ) をサポートする包括的でセキュアな、そしてスケーラブルなプラットフォームを提供します。これには、新規のシステム開発とレガシー・システムの再利用を含みます。

• スタンダードに準拠

コンポジット・アプリケーションにおけるヘテロロジニアスなベンダー・アプリケーションに対して、業界スタンダードをベースとすることによりサポートします。このスタンダードには、Java™ 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE™) / Java Message Service (JMS) / Business Process Execution Language (BPEL) / Business Process Modeling Notation (BPMN) / eXtensible Markup Language (XML) などに基づくさまざまな Web サービス標準を含みます。

Sun Java CAPS は、エンドユーザに合ったインタフェースをもつ新しいタイプのプロセス駆動型アプリケーションの作成を可能にしてくれました。しかも、そのコストは、標準の開発ツールを使用したり、既成のパッケージ・アプリケーションを購入した場合にかかるであろう費用のほんの一部にすぎません。ビジネス価値とはもはやパッケージ・アプリケーションのことではありません。それは、このようなアプリケーションを駆使して、どのようなビジネス / ユーザ間のサービスを提供できるかということです。

HVB Americas の役員兼 CIO
David Dart 氏

“ With the Java Composite Application Platform Suite, we now have the ability to create this new breed of process-driven applications with customized end-user interfaces at a fraction of what it would cost to use standard development tools or to purchase packaged, off-the-shelf applications. Business value is no longer about packaged applications, it's about the business-user services those applications can be orchestrated to provide.”

David Dart
Managing Director and CIO, HVB Americas

• Sun Java Application Platform Suite

Sun Java CAPS のサブセットで、ビジネス・クリティカルなアプリケーションやプロセスの管理 / 性能 / セキュリティ / 可用性といった問題を解決するための製品です。プロセス駆動型ポータルをサポートによりロール・ベースのコンポジット・アプリケーションを実現します。そのため、アクセス権限のある情報に 1 回のユーザ操作でアクセスできます。

• Sun Java Web Infrastructure Suite

Sun Java CAPS のサブセットで、Web セキュリティの向上を図り、顧客やパートナーとのオンラインでの関係を強化し、Web オペレーション・コストを削減するための製品です。この Suite 製品は、市場をリードする Web やアイデンティティ関連のインフラ製品からなります。

インテグレーション機能には、業界をリードするメッセージング機能を使ったアプリケーション間統合や、Java と Extensible Stylesheet Language Transformations (XSLT) 技術に基づく変換、さらには、多岐にわたる多数のコネクタがあります。Business Process Management (BPM) は、複数のバックエンド・システムや人的活動を伴うマルチステップのビジネス・プロセスを自動化します。Business Activity Monitoring (BAM) は、精巧なダッシュボードやアラート機能の開発をサポートします。ETL (Extract, Transform, and Load) 機能は、大量データの移動に使用されます。

また、本製品には、顧客 / 患者 / サプライヤといった一般的なエンティティの単一マスター・インデックスを開発するための広範な B2B サポートと高度な機能が含まれています。これらの機能は次のコンポーネントを通して統合されています。

- Enterprise Designer による共通デザイン環境
- Enterprise Manager によって監視される共通ランタイム環境
- メッセージング・レイヤで使用される Java Message Service (JMS)
- Web サービスの再利用をサポートする単一リポジトリ。これは Sun Java CAPS 内のすべての統合コンポーネントに対して使用されます。

Sun Java CAPS 製品は、統合ツール、インフラ・ツール、開発者ツールからなります。

コンポーネント製品

Sun SeeBeyond eGate™ Integrator

Java 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE) に準拠した、Web サービスに基づく分散統合プラットフォームです。Sun Java CAPS の基盤となる Sun SeeBeyond eGate Integrator は、包括的なシステム接続機能、信頼性の高いメッセージング機能、強固なデータ変換機能など、統合の中核を担っています。それと同時に、インテグレーションの開発 / 配備 / 監視 / 管理を総合的に行うことのできる環境でもあります。さらに、この製品は、そのインテグレーション技術をサード・パーティ J2EE アプリケーション・サーバに対してネイティブ実行レベルでサポートする最初の J2EE 認定統合プラットフォームであると同時に、業界初の全社規模の統合変更管理ツールを備えています。そのため、TCO の大幅な削減が期待できます。

Sun SeeBeyond eInsight™ Business Process Manager

Sun SeeBeyond eGate Integrator の上位に位置し、プロセス駆動型の統合をサポートします。この製品を使えば、ビジネス・アナリストは、任意の数の Web サービス / システム / 人材 / パートナーといった活動の流れを指揮する各種のビジネス・プロセスをモデル化し、テスト / 実装 / 監視 / 管理 / 最適化することができます。この製品は、Business Process Modeling Notation (BPMN) と Business Process Execution Language (BPEL) に基づくオープンでグラフィカルなモデリング環境を提供します。

Sun SeeBeyond eVision™ Studio

ユーザとアプリケーションやビジネス・プロセスとの対話をサポートする対話型の複合 Web ページを生成します。プログラミングは一切必要ありません。この製品は、グラフィカル・ページ・レイアウト・デザインと多数の GUI コンポーネントを備えています。この製品を使ってポートレットを作成し、Sun Java System Portal Server に実装することができます。

Sun SeeBeyond eTL™ Integrator

ファイルとデータベース間での大量データの抽出 / 変換 / ロードに最適です。その ETL 開発 / ランタイム環境は、Sun Java CAPS プラットフォームに完全に統合されていて、非常に大量のレコード・セットを処理するのに特に適しています。

Sun SeeBeyond eXchange™ Integrator

取引パートナーとの連携を自動化することは、コストの削減と顧客満足度の向上と売上の増加を同時に達成する最も効率的な方法の 1 つです。問題は、取引パートナーの数が増加し、それらの中で多様な XML 形式や Electronic Data Interchange (EDI) 形式、固有形式が使われるなかで、これらの取引パートナーとの関係をどのように管理するかにあります。この Suite 製品の主要な B2B コンポーネントである Sun SeeBeyond eXchange Integrator は、取引パートナー・プロフィール管理とメッセージ追跡を行なう Web ベースのソリューションです。このソリューションは、使い易いパートナー・プロフィール管理や、広範かつオープンな B2B プロトコル・サポート (AS2 認証を含む)、セキュアなデータ転送を通して、ビジネス・パートナーとの関係を効率的に構築 / 保守します。

Sun SeeBeyond eXpressway™ Integrator

極めて小規模な取引パートナーであっても B2B システムに参加できるようにします。この製品には、包括的な実装プロセスや、グラフィカル構成ウィザード、パートナーによるダウンロードが可能な接続ソフトウェアなどが含まれています。

Sun SeeBeyond eView™ Studio

今日のビジネスでは、極めて重要な情報が、顧客管理システム (CRM) / 統合業務管理システム (ERP) / 請求処理 / e-コマース / 顧客支援など、異なるシステムを通して会社全体に配布されています。Sun SeeBeyond eView Studio は、それぞれのシステムに共通して存在するレコードを固有に識別するために、データ洗浄 / 照合技術を使って、同じエンティティを表す複数の異なるローカル識別子からクロス・インデックスを自動的に作成します。Sun Java CAPS では、こ



Sun Java CAPS は、SOA ベースのコンポジット・アプリケーションの統合に必要なすべての要素を備えています。

のクロス・インデックスを使用することによって、複数のシステム間で情報を一元的に共有することができます。

Sun SeeBeyond eBAM™ Studio

Business Activity Monitoring (BAM) は、多数の異なる情報資源 (アプリケーションなど) で発生するさまざまなリアルタイム (または、ほぼリアルタイム) のビジネス・イベントを組み合わせることによって、アクション可能なイベントを識別するものです。Sun SeeBeyond eBAM Studio の構成ウィザードを使えば、BAM や適切なビジネス Key Performance Indicators (KPI) のルールを定義できます。さらに、この製品は、これらのルールのランタイム環境として、コンポーネントを表示し、KPI の変化を時間軸に沿って図示します。最終的には、エンドユーザ・ダッシュボード / レポート / アラートをプログラミングすることなく生成できる BAM コンポジット・アプリケーションができていきます。

Sun SeeBeyond eWay™ Intelligent Adapters

eWay Intelligent Adapter の技術は、J2EE Connector Architecture (JCA) に基づく Web サービス対応の接続の組み込みを容易にするものです。Sun は、アプリケーションやビジネスの統合に使用する JCA インタフェースや Web サービス準拠のインタ

フェースを備えた eWay Intelligent Adapter を 80 以上パッケージ化して提供しています。Sun Java CAPS は、これらの Intelligent Adapter を通じて、さまざまな分散アーキテクチャやプロトコルに基づく個々のシステムにアクセスします。この分散アーキテクチャやプロトコルとしては、J2EE や Microsoft .Net、レガシー技術 (IBM の Customer Information Control System (CICS)、Common Object Request Broker Architecture (CORBA)、Microsoft の Distributed Component Object Model (DCOM) など)、さらには、Siebel や SAP のパッケージ・アプリケーションなどがあります。この Suite 製品には、eWay Intelligent Adapter のサブセットが含まれていますが、ほかのアダプタを別途購入することができます。

インフラ製品

Sun Java CAPS には、Sun Java Application Platform Suite や Sun Java Web Infrastructure Suite の製品が含まれています。これらの製品は、さまざまな統合製品に対するアプリケーション・サーバやアイデンティティ・サポートの強力な基盤であり、ユーザとコンポジット・アプリケーションの協業をサポートするポータル・インタフェースです。

カテゴリ	製品	Sun Java Composite Application Platform Suite	Sun Java B2B Suite	Sun Java ESB Suite	Sun Java Application Platform Suite	Sun Java Web Infrastructure Suite
開発者ツール	Sun Java Studio Enterprise	✓	✓	✓	✓	✓
	Sun Java Studio Creator	✓	✓	✓	✓	✓
インフラ	Sun Java System Application Server	✓	✓	✓	✓	✓
	Sun Java System Portal Server	✓	✓ *	✓ *	✓	
	Sun Java System Web Server	✓			✓	✓
	Sun Java System Web Proxy Server	✓			✓	✓
アイデンティティ管理	Sun Java System Directory Server*	✓	✓	✓	✓	✓
	Sun Java System Access Manager*	✓	✓	✓	✓	✓
統合	Sun SeeBeyond eGate Integrator	✓	✓	✓		
	Sun SeeBeyond eInsight Business Process Manager	✓	✓	✓		
	Sun SeeBeyond eVision Studio	✓	✓	✓		
	Sun SeeBeyond eWay Intelligent Adapters**	✓	✓	✓		
	Sun SeeBeyond eBAM Studio	✓		✓		
	Sun SeeBeyond eXchange Integrator	✓	✓			
	Sun SeeBeyond eXpressway Integrator	✓	✓			
	Sun SeeBeyond eTL Integrator	✓				
	Sun SeeBeyond eView Studio	✓				

* 限定されたライセンス

** Communication eWay アダプタ

Sun Java System Application Server

J2EE 仕様に準拠した最初の実装である Sun Java System Application Server は、エンタープライズ・クラスのアプリケーション・サービスや Web サービスを実現する基盤です。Sun Java CAPS は、Sun Java System Application Server を使ってビジネス・ロジックの処理に必要な共同作業を実行し、eWay アダプタを使って外部アプリケーションとの通信を行います。さらに、Sun Java CAPS は、セキュリティや、トランザクション、ビジネス・ルールの実行、接続管理などのサービスを提供します。Sun Java System Application Server は、この製品特有の新しいモジュラ型アーキテクチャを使ってこれらのサービスを行います。このアーキテクチャには、業界で最も実績のある高性能で標準に準拠したコンポーネントのいくつかが使用されています。

Sun Java System Portal Server

Sun Java CAPS インテグレーション製品を使って統合されたレガシー・アプリケーションやパッケージ・アプリケーションの上で動作するビジネス・プロセスやコンポジット・アプリケーションとの協業に必要なユーザ・ポータルを提供します。この Portal Server は、アイデンティティに基づくアクセス権と管理を使って、個々の従業員やパートナー/サプライヤ/顧客に合ったコンテンツを表示します。ユーザのアイデンティティを示すアカウントに基づいてポータル・コンテンツを決めることができるため、生産性が向上します。このパーソナライズ機能に対応するコンテンツは、Sun SeeBeyond eVision Studio や Sun Java Studio Creator など、Java Service Request (JSR)-168 に準拠した任意のポータル開発用ツールで作成できます。

Sun Java System Directory Server

複合的なアプリケーション統合のディレクトリ・バックボーンとして Sun Java System Portal Server のバックグラウンドで動作します。これにより、今日のミッションクリティカルなエンタープライズ・アプリケーションや大規模なエクストラネット・アプリケーションは、一貫性のある正確で信頼性の高いアイデンティティ・データにアク

セスし、大幅な運用の効率化やコストの削減を達成することができます。このソリューションは、アイデンティティ管理の強固な基盤として、アイデンティティ・プロファイル/アクセス権限/アプリケーションとネットワーク・リソース情報などを格納/管理するための一元的なリポジトリを実現します。

Sun Java System Access Manager

標準に準拠したオープンな認証とポリシーに基づく権限を単一の統合フレームワークで提供することによって、複合的なアプリケーション統合をサポートします。さらに、Sun Java System Directory Server 上にあって、欠くことのできないアイデンティティ情報とアプリケーション情報を確実に伝達します。この製品は、シングルサインオン (SSO) の機能を提供するだけでなく、パートナー/サプライヤ/顧客それぞれのトラステッド・ネットワークにわたる統合をサポートすることでビジネス・ニーズの増加にも対応できます (限定的なライセンス)。

開発者ツール

すべての Sun Java System Suites には、Java 開発者向けに特化したツールが含まれています。

Sun Java Studio Creator

開発者は、ビジュアル・デザイン/プロパティ・シートによるリソースの操作/カスタマイズそして、これら 3 つの間を自由に移動したり、Java、Structured Query Language (SQL) / Hypertext Markup Language (HTML) / JavaServer Pages™ (JSP) / XML のソース・コードの編集を指示できます。アプリケーションのすべてのビューは、アプリケーションのソース・コードと同期されているため、一貫性と柔軟性のある開発が可能です。NetBeans™ の上に構築されたこの Sun Java Studio Creator には、一連の新しい JavaServer™ Faces コンポーネントや、JSR-168 ポートレットの構築サポート/データベースの容易なアクセス/簡素化されたアプリケーション・モデルなど、多くの機能が含まれています。

Sun Java Studio Enterprise

全社システムの設計者や開発者向けの統合開発環境 (IDE) です。賞を獲得したこの IDE には、J2EE 標準に準拠したエンタープライズ・アプリケーションや Web サービスやポータル・コンポーネントの開発/デバッグ/調整/テストに必要なすべての機能が組み込まれています。さらに、この製品は、全機能を備えたユーザにやさしい環境としてオープン・ソースで人気のある NetBeans™ プラットフォーム上に構築されています。

定義: コンポジット・アプリケーション

コンポジット・アプリケーションは、既存のパッケージ/レガシー・アプリケーションと情報格納、そして新たに開発されたサービスを 1 つのソリューションに結合したものです。ビジネス・ロジックは、柔軟性に欠けることの多いこのようなパッケージ/レガシー・アプリケーションから解放され、適切なビジネス所有者によって確実に管理されます。その結果 IT は、動的に変化するビジネス目標と歩調を合わせた、柔軟性と機動性に富んだものになります。

詳細

Sun Java CAPS の詳細については、jp.sun.com/software/ をご覧ください。

システム要件など、最新の詳細情報は、リリースノート docs.sun.com/ をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本 社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話 (03) 5717-5000 (代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話 (03) 4232-2400 (代)
神宮前オフィス	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11		電話 (03) 3746-9811 (代)
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-22	栄928ビル6F	電話 (052) 264-4611 (代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話 (06) 6265-5700 (代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話 (092) 834-0101 (代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話 (0298) 51-2210 (代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話 (0565) 25-5701 (代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		



Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク、Java、Java Coffee Cup のロゴマーク、J2EE、SeeBeyond、eGate、eInsight、eVision、eTL、eXchange、eXpressway、eView、eBAM、eWay、JavaServer Pages、JavaServer、NetBeans は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。